

年末・年始を無災害で！「ご安全に」の声掛けと感染防止対策の徹底を！

ご安全に！

第 11 期がスタートして 3 か月が経過しました。また、新型コロナウイルスの発現から 2 年、この間の感染拡大は私たちの命と生活を脅かしてきましたが、10 月下旬以降、感染者数は減少、小康状態を保っており、今期の活動推進にあたっては、感染防止対策を取りながらではありますが、諸会議やセミナーの一部でも対面の開催ができています。しかしながら、新たな変異株の出現もあり、マスクの着用、うがい・手洗い、三密の回避など、公私を問わず感染防止対策が必要な状況に変わりはなく、改めての徹底をお願いしておきます。

さて、第 19 回定期大会で決定いただいた運動方針にもとづく諸活動の推進にあたっては、加盟組合・構成組織、県本部・県センターの皆さんには、ご理解・ご協力、そして積極的な参加をいただいております。心からの敬意と感謝を申し上げます。

運動方針では、安全衛生に関わる主要取り組みとして

- ① 類似災害・重大災害の撲滅と無災害職場の確立に向けた活動として、尊い教訓をまとめた災害事例（ホームページに掲載）の労使での活用、安全衛生対策強化月間を活用した取り組みの活性化と底上げ
- ② 先進技術と知見を活かしたリスクゼロ職場の構築として、情報の収集・共有化と情報提供、研修会を通じた有益な情報と専門的な知識の習得
- ③ すべての働く仲間が安全で安心して働くことのできる職場環境の確立として、男女問わず、また高齢者の安全にも配慮した職場環境の構築・改善
- ④ 衛生活動のさらなる強化として、メンタルヘルス、職業性疾病、生活習慣病の予防など、基幹労連が発信する情報の活用

を掲げています。ホームページをはじめ、中央本部が発信している情報も参考にいただき、安全衛生活動の労使一丸となつての取り組みをお願いいたします。

本年 2021 年も現時点で 14 件 14 人の死亡災害が発生しており、仲間の尊い命が失われてしまいました。今朝まで、ついさっきまで元気だった大切な人・仲間が、幸せを育むための働く職場で突然命を奪われる、こんな辛く悲しいことはありません。

どんな日常にも危険は潜んでいるものですが、一方で、備え防ぐことのできるものも数多くあります。死亡災害の連鎖を断ち切り、リスクのない安全で安心な職場を構築していくために、労使一丸となつた取り組みを重ねてお願いいたします。

年末・年始という節目。今年を振り返りつつ良い新年を迎えられように、自分自身はもとより仲間の安全と健康を願い、心を込めて「ご安全に」。

2021 年 12 月 16 日

日本基幹産業労働組合連合会
事務局長 津村 正男